



**JAPAN**

*A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test*

資料 3 - 6

大学入学者選抜における総合的な英語力評価を推進するためのワーキンググループ

## TOEFL® テスト概要

～英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決状況について～

ETS Japan

2023.6.26

# TOEFL®テスト 概要



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

- 1964年に開始された世界で最も実績のあるアカデミック英語測定試験
- 公式テスト: TOEFL iBT®テスト CBTで実施、テストセンター受験と自宅受験で運用
- 団体向けテスト: TOEFL ITP®テスト 紙版もしくはCBT版、実施機関での受験または自宅受験の双方で受験可能
- アカデミックなテストコンテンツで構成
  - TOEFL iBTテスト: 4技能を同時に一度で測定、複合技能型の問題含む
  - TOEFL ITPテスト: 2技能3セクションを測定 **2022年よりスピーキングセクションを追加**
- スピーキング、ライティングの採点にはAIによる自動採点を採用 (iBTテストは人の採点とAIを併用、**ITPテストはAIのみ使用**)
- スコアによる評価
  - TOEFL iBTテスト: 0~120点 各技能0~30点x4セクション
  - TOEFL ITPテスト: 各セクション31~68/67点 総点310~677点 (Level 1)
- Score Descriptorsによる各技能とスコアのCan-Do表記
- CEFRとの相関
  - TOEFL iBTテスト: B1~C2 TOEFL ITPテスト: A2~C1



# TOEFL®テスト 日本での利用概況



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

## TOEFL iBT®テスト

- 2006年開始以来100万人以上が受験
- 234大学が入試においてTOEFL iBTテストのスコアを活用\*
- 194大学がTOEFL iBTテストのスコアを単位認定に活用\*
- 各都道府県の英語教員採用、人事院、省庁の留学、企業の英語力要件等でも使用
- 2023年のテスト実施日は年間48日 テストセンターは56か所、自宅受験は週4日実施
- 受験料: 245ドル(テスト日の7日前までの申し込み)

 \* 2022年スコア利用実態調査による

## TOEFL ITP®テスト

- 1987年の開始以来400万人以上が受験
- 英語力測定、大学・大学院入試、留学者選抜、系列大学進学への指標等で使用
- TOEFL iBTテストに向けた準備利用
- 年間300以上の大学等教育機関、行政、企業が利用
- 受験料: 4,000円弱(2技能版・CBT/紙とも同料金 人数等により変動)
- スピーキング測定が正確で手早くできる



# 英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決

## ～教育機関との連携事例紹介～

### 福岡県「Stanford e-Fukuoka」での英語4技能の研修を提供

- ◆ 関係団体     スタンフォード大学Freeman Spogli Institute 福岡県教育委員会  
                  在福岡米国領事館 ETS Japan ETS公認TOEFLトレーナー
- ◆ 制度概要     スタンフォード大学のSPICE (Stanford Program on International)が東アジア  
                  (日本・中国・韓国)の高校生向けに開発した異文化理解教育プログラムを、  
                  福岡県の要望をいれてカスタマイズ。世界トップクラスのスタンフォード大学の  
                  スタッフやゲストスピーカーによるディスカッションを中心としたオンライン講義。
- ◆ 講座概要     受講にあたっての必要な英語力を育成するため、ETSが行うTOEFLテストと  
                  練習問題を使用した「TOEFL特別講座(全6回+プレテスト・ポストテスト)を  
                  事前に受講
- ◆ 講座構成     生徒は①デジタル版TOEFL ITPテストを自宅で受験 ②全6回の講座でアカデ  
                  ミックな題材に関して「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を学習。③学習の成果  
                  としてTOEFL iBTテストの実際の過去問題であるTOEFL Practice Onlineを受験  
                  し、成果の測定を行う。

# 英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決

## ～教育機関との連携事例紹介～

### 福岡県「Stanford e-Fukuoka」での英語4技能研修

- ◆ 実施の効果 「Stanford e-Japan」はもともとオンラインかつ全て英語で講義やディスカッションがなされるプログラムだが、日本の高校生にとってアカデミックな文章を読んだり議論する機会が十分に無い場合があり、プログラムの成果が十分に発揮されていなかった。スタンフォード大学の関係者、外部講師とディスカッションや議論を行い、「Stanford e-Japan」導入のためTOEFLのコンテンツ、教材、試験を活用した事前講座を行うこととした。結果として参加生徒の英語能力は4技能全般にわたって大きく向上を見せ、また生徒自身からも自信がついた、このような英語を身につけたかったとのフィードバックを得た。また講座担当の講師からも非常に高い評価を得た。

2020年以降、講座は継続となり、他の都道府県・市区町村にも

事前講座を組み込んだ「Stanford e-Japan」の導入が行われている。



# 英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決

## ～その他の取り組み

### TOEFL iBT®テスト解説付き無料問題集

- ◆ 日本の高校生に多くみられるCEFR B1レベルから、初めてTOEFL iBTテストを学習する方に、まず取り組んでみてもらえるミニテスト
- ◆ アカデミック分野の出題文に和訳と解説を入れて、母語が日本語という生徒にも「わかりやすく」「はじめやすい」内容構成
- ◆ 解説はETS公認のTOEFLトレーナーが講師として執筆
- ◆ e-book版はWebサイトからダウンロード可能で、Listeningの音声データにもアクセス可能

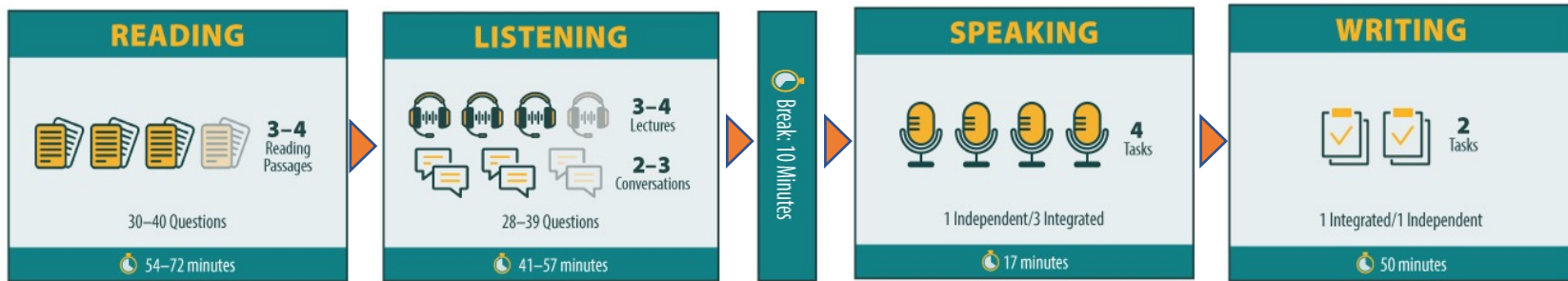
### 団体での受験サポート

- ◆ テスト会場において、教育機関様で受験予定者の人数分の座席を確保し、同じ日時に団体受験が可能なサポートを提供
- ◆ 11名以上の場合は、教育機関様に団体割引料金でのバウチャーの提供も可能

# 第2回WG以降の進捗報告

～2023年7月26日、試験時間を1時間短縮した2時間版TOEFL iBT®テスト導入

2023年7月25日まで： テスト時間約3時間



2023年7月26日以降： テスト時間約2時間



# 第2回WG以降の進捗報告

## ～2023年7月26日、試験時間を1時間短縮した2時間版TOEFL iBT®テスト導入

### ◆主な変更点

- Reading/Listeningのいずれかに含まれていたスコアに加算されないパッセージが撤廃
- Readingがパッセージ2つに短縮
- 各セクションのインストラクションとナビゲーションの簡略化
- ListeningとSpeakingの間にあった10分間の休憩時間の撤廃
- Writingの1つのタスクが変更され、回答時間が1/3の10分間に短縮

### ◆変更されないこと

- 100%アカデミックイングリッシュ
- スコアスケール (0-120)
- Speaking/WritingのRubricsに沿ったスコア採点基準
- 受験料 (US\$245)
- テスト日程・会場の選択肢



# 第2回WG以降の進捗報告



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

## ～2023年7月26日、試験時間を1時間短縮した2時間版TOEFL iBT®テスト導入

### ◆Writing for an Academic Discussion ～現代のニーズに即した質の高いWriting問題

**ETS TOEFL** | Volume | Help | Next >

Writing | Question: 1 of 2 | 00:00:00 | Hide Time

**Instructions:** Your professor is teaching a class on economics. Write a post responding to the professor's question. In your response you should:

- express and support your personal opinion
- make a contribution to the discussion in your own words

An effective response will contain at least 100 words.

**Paul N**  
I mean, we're so used to science and technology that we are not even aware of all the things we use in our daily lives probably choose space satellites. This technology has probably changed our lives in the last hundred years, and it has become important for things. Just think about navigation, or telecommunication, or even the military.

**Lena A**  
Television has been the technology with the most significant impact in the past 100 years other than cell phones, computers. Television has brought news, entertainment, education into people's living rooms. It has played a major role in influencing the way we think, feel, and interact with the world around us.

**Professor Henson**  
When people are asked about the most important discoveries or inventions made in the last two hundred years, they usually mention something very obvious, like the computer or the cell phone. But there are thousands of other discoveries or inventions that have had a huge impact on how we live today. What scientific discovery or technological invention from the last 200 years - other than computers and cell phones - would you choose as being important? Why?

Cut | Paste | Undo | Redo | Hide Words

One technology that has had a significant impact in the past 100 years is the automobile. The invention of the automobile transformed transportation, allowing people to travel faster and further than ever before. Cars have enabled us to explore new places, and transport goods and services across long distances. The automobile industry has created millions of jobs and spurred economic growth around the world. However, cars have also contributed to pollution, traffic congestion, and climate change. Overall, the automobile has been a double-edged sword, providing significant benefits while also presenting challenges that we must address as we move forward.

© 2023 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo, TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) in the United States and other countries. IN ENGLISH WITH CONFIDENCE is a trademark of ETS.

#### 受験者に期待されること:

- 提示された題材に関する学生のアイディアに触れる、またはそれを基にする
- 立場や主張を明確に述べたり、詳しく説明したりする
- アカデミックな文脈の中で、さまざまな文法構造と語彙を正確かつ有意義に使用できることを示す

# オンライン受験における不正行為防止対策

## ～TOEFL iBT Home Editionでは、人間・AIの両面での不正防止策を実施

### ◆事前準備

- デスクトップまたはラップトップパソコンを使用、タブレットやモバイルデバイスは使用不可
- システムの必須要件を確認し、システムチェックの実施が必須

### ◆試験監督者からの遠隔操作 & 音声指示

- IDの確認、顔写真の撮影
- 自宅環境（部屋全体、部屋に一人か、部屋のドアが映るような配置）の確認
- 手首、耳の中を確認、マスクは使用不可
- 時計、宝石、ネクタイクリップ、カフスボタン、飾りのついたヘアクリップ、ヘッドバンド、その他のヘアアクセサリ類は使用不可
- スマホをカメラが見える位置（背面側）に置く
- ノートテイキングアイテムを見せる
- 常に顎が見える状態にする

### ◆AI技術の併用

- 顔認識、視線の追跡
- チェックインからテスト終了までビデオ録画

# TOEFL®テスト資料

- TOEFLテストの種類と運用
- TOEFL iBTテスト/TOEFL iBT Home Edition
- TOEFL ITPテスト
- ETS Japanについて

# TOEFL®テストの種類と運営



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

主な対象

小・中学生

中学生・高校生

(高校生)・大学生

(高校生) 大学生・社会人

CEFR

A1-B1

A2-B2

A2-C1

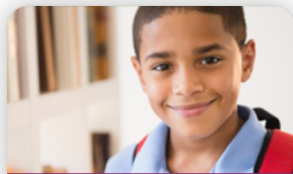
A1-C2

B1-C2



TOEFL Primary®

8歳以上



TOEFL Junior®

11歳以上



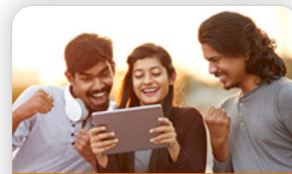
TOEFL ITP®

16歳以上



TOEFL®  
Essentials™

年齢制限なし



TOEFL iBT®

年齢制限なし

公文研究会  
GC&T事業推進部  
<https://gc-t.jp/>

ETS Japan / TOEFLテスト日本事務局

テスト一般情報、TOEFL ITP運営、公式教材販売 等  
プロメトリック株式会社  
会場受験、ETSアカウント情報 等



TOEFL iBT®テスト

TOEFL iBT® Home Edition

[https://www.toefl-ibt.jp/test\\_takers/toefl\\_ibt/](https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/)



形式		新形式 2023年7月26日～	現行形式 ～2023年7月25日
Reading	パッセージ/問題数	2つ (20問)	3～4つ (30～40問)
	試験時間	35分	54～72分
Listening	パッセージ	講義形式3題 (各6問) 対話形式2題 (各5問)	講義形式3題 (各6問) 対話形式2題 (各5問)
	試験時間	36分	41～57分
休憩		無し	あり (10分)
Speaking	出題形式	Independent Task 1問 Integrated Task 3問	Independent Task 1問 Integrated Task 3問
	試験時間	16分	17分 n
Writing	出題形式	Academic Discussion task (10分) Integrated task 1問 (20分)	Independent task 1問 (30分) Integrated task 1問 (20分)
	試験時間	約2時間	約3時間



## TOEFL ITP®テスト

TOEFL ITP®テストは2つのレベル  
(Level 1, Level 2)

CBT版の運用についてはお問い合わせ  
ください

<https://www.toefl-ibt.jp/toefl-ity/>



# TOEFL ITP®テスト構成



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

## Level 1 (中級から上級まで、CEFR : A2~C1) 約2時間

(TOEFL ITP®テストLevel 1は、TOEFL® PBTテストと問題数、スコア範囲は同じです)

TOEFL ITPテストは2つのレベルを選択可能

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	50	約35分	31 - 68
Structure and Written Expression	40	25分	31 - 68
Reading Comprehension	50	55分	31 - 67
TOTAL	140	約115分	310 - 677

## Level 2 (初級から中級まで、CEFR : A2~B1) 約1時間10分

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	30	約22分	20 - 50
Structure and Written Expression	25	17分	20 - 50
Reading and Vocabulary	40	31分	20 - 50
TOTAL	95	約70分	200 - 500

※TOEFL ITP® Supervisor's Manualより引用



# TOEFL ITP®テストデジタル版



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

TOEFL ITP®テスト デジタル版は、TOEFL ITP®テストの作成元であるETSが、従来のペーパー版に加え、コンピュータ上で出題・解答していくテスト形式として新たに導入したテストです。

2020年4月より、団体向けテストプログラムの一つとして提供を開始しました。問題数(時間\*)、スコアスケール、テスト料金は、従来のペーパー版のTOEFL ITP®テストと同じです。

## ペーパー版とは異なる4つのメリット



テスト終了後、  
その場でスコアがわかる



少人数から対応可能



問題冊子、解答用紙の  
発送・返却が不要



TOEFL iBT®テスト受験準備に  
最適

テスト終了後にその場で結果(スコア)を確認でき、監督者はスコアデータ一覧の保存も可能です  
監督者がUnofficial Score Reportを発行することも可能です  
スコア一覧データは受験者また各セクションのスコア、あわせてCEFRレベルもセクションごとに  
表示されます

\* セクションごとの所要時間は最大時間のため、受験者により早く終わることがあります



# TOEFL ITP®テストデジタル版＋Speakingオプション

- Speakingセクションは、TOEFL ITPテストデジタル版の追加オプションとして実施が可能
- 問題構成: 計4問、簡易な統合技能型の問題
  - 1問目: 読み上げ、1分考える・練習→1分で読み上げ
  - 2～3問目: 出された問題について30秒で考え45秒で答える
  - 4問目: 会話を聴く→指示に基づいて答える
- 特長
  - ETSが開発した自動採点システム「Speech Rater®」による精確な採点
    - TOEFL iBTテストでも採用されている信頼性の高い採点で、世界基準でスピーキング能力を証明することが可能
  - 受験人数を問わず短時間で測定、幅広いレベルに対応
    - 所要時間は約20分間、CEFR A2からC1まで対応
  - TOEFL iBTテスト受験に向けたステップアップ



# ETS Japanについて



**JAPAN**

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

<https://www.etsjapan.jp/>

- 2021年6月15日に業務を開始
- 1981年よりTOEFLテスト日本事務局として運営を行ってきた一般社団法人 CIEE国際教育 交換協議会よりTOEFL®テストに関する事業を引き継ぐ
- ETS Japanの業務

TOEFLテストに関する広報・周知

団体向けTOEFLテストであるTOEFL ITP®テストの提供

TOEFL®テスト公式教材の販売

オンラインのライティング指導ツールCriterion®の提供

GRE®テストに関する広報・周知



お問い合わせ テストの利用等に関するご質問  
ETS Japan 広報担当  
Mail to : koho@etsjapan.jp

